

# 令和6年度 西予市地域貢献研究事業実績一覧（概要）

	所属・氏名	研究の名称	補助額	目的・研究概要	成果・期待される効果
1	愛媛大学 大学院教育学研究科（教職大学院） 【教授】 川本 龍一	西予市地域包括ケアにおける在宅ケアを推進するための多職種連携活動に関する調査研究	8,333円	西予市における地域包括ケアの充実のためには、すべての住民が等しく保健・医療・福祉に関するサービスを円滑に受けることが重要である。一方で、高齢化、疾病の重症化や複雑化、地域の介護力不足、交通の不便などを背景にまだまだ十分なケアが行われていない。本事業では、現状と今後の課題を抽出し、解決のための方策を明らかにする。	現在の連携による課題の抽出とその改善策が明らかになることにより、地域包括ケアの地域連携の改善を図り、過疎地域における少子化、超高齢社会において、地域住民が人生の最後まで安心して暮らせる社会づくりの構築に繋がる。
2	愛媛大学社会共創学部 【教授】 榑原 正幸	西予市における養蚕文化の地域アートと未来可能性	356,017円	ジオミュージアムの協力を得て、宇和、野村、三瓶の養蚕農家、それを目指している人を対象に、現地就業状況調査、インタビューを行い、現状と課題を把握する。 養蚕文化に関心のある住民や愛媛大学の研究者・学生、養蚕農家等が、養蚕文化の価値観を変容する学習・実践的活動を行う共同体を結成して活動する。活動が軌道に乗ったら、国内の多様な民間セクターや地域住民と「マルチセクター協働」を実践する体制を構築する。 新規参入者や歴の浅い人を調査対象としており、正統的周辺参加の有効性を検討する。	シルク博物館の来館者数や生糸の販売量は大きく減少しており、桑の活着本数も減少している。 劇的な発展が見込まれるものではないが、養蚕文化に関心のある学生も参加すること、新規参入者を対象とすることから、若い意見を取り入れるきっかけになることを期待できる。
3	岡山理科大学獣医学部獣医学科 【教授】 深瀬 徹	獣医学的見地にもとづく西予市の農畜水産物の有用性の再発見とそれらを用いたイタリア料理の開発および料理フェアの開催	308,972円	獣医学的な見地に立脚して有用な食材の再発見を試み、その活用と継続的な利用を図ることを目的とする。 西予市の各種の農畜水産物について獣医学的見地を踏まえて具体的に検討し、イタリア料理に適した食材を提供する（ここでイタリア料理としたのは、愛媛県全体の農畜水産物に関してイタリア料理フェアを開催した実績があるためである。）。次いで、抽出した食材を用いてイタリア料理のメニューを開発し、実際にレストラン(東京日本橋の三越本店にある「代官山ASOチレステ日本橋店」)で提供する。このとき、単なる料理の提供にとどまらず、西予市そのものの紹介を行い、市の認知度の向上に努める。以上の経緯に関して疫学的手法を用いた解析を行い、成果を学会等で発表する。	現地調査を通して、西予市内の農畜水産物の有用性を再発見することができる。また、メニュー開発を行い、実際に提供し、西予市のPRを行うことで、西予市の知名度の向上、ふるさと納税につながることを期待できる。

※申請順

※所属は申請時点



# 令和6年度 西予市地域貢献研究事業実績一覧（概要）

	所属・氏名	研究の名称	補助額	目的・研究概要	成果・期待される効果
4	愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター  【教授】 村上 恭通	西予市宇和町岩木地区における文化遺産の継承に関わる新たな住民参加型の取り組み	305,280円	2023年12月、『西予市文化財保存活用地域計画』（以下、地域計画）が文化庁に認定された。本地域計画が実効化されることは重要であるが、その過程において、自治体内の基礎単位が文化財を活かした自立的な地域づくりの実態があれば、自治体と基礎単位との相互作用的な新たな効果が期待できる。その基礎単位となる宇和町岩木地区を対象として文化遺産とその継承に関わるモデルづくりを目的とする。 岩木地区はもとより文化遺産が豊富である。それらを地区外（市外・県外）の人々にも理解できる教科書レベルの歴史に落とし込んだガイドブックを作成し、同時にマップも作成する。さらに地区住民と協議したうえで「岩木文化遺産めぐり（以下、めぐり）」を実施し、地区外からの参加者を募り、実施後、参加者にアンケートを募り、その結果を地区住民と協議して次なるめぐりの可能性とそれに対する工夫を地域住民とともに議論し、地域計画の管掌部局に提案する。また研究成果を西予市で報告する。	基本事業「特色ある文化施策の取り組み」で、特徴的な文化財を活かした事業展開が目指されている。 この研究の成果は文化財を活かした事業であり、外部から人が来ることも期待できる。
5	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科  【准教授】 渡邊 敬逸	ナベヅル渡来重点地域の拡充に向けた探索的研究	339,400円	本研究ではデコイの新規設置と各種環境調査を通じて、ナベヅルの遊動域を規定する要因を探索的に検討し、適切な環境にあるナベヅルの渡来重点地域の拡充に資することを目的とする。  本研究で実施する研究内容は以下のとおりである。 ①ナベヅルの越冬モニタリング ②デコイの新規設置による試行的誘因 ③ナベヅルの環境選択性に関する調査 ④ナベヅル越冬前後の餌資源調査	「西予市ツル・コウノトリと共生するまちづくり計画」の目的に沿った研究であり、西予市の環境保全への貢献が期待できる。 また、ナベヅルの絶滅リスクの軽減につながる研究である。

※申請順

※所属は申請時点



西予市政策企画部政策推進課  
電話 0894-62-6421